

た い じ
胎児の発育



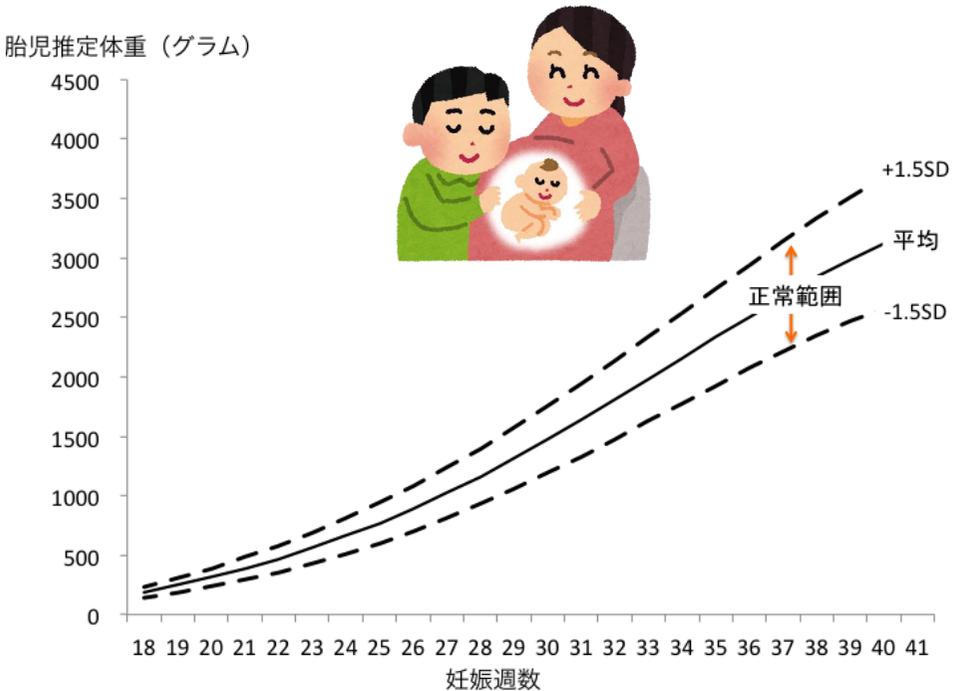
たいじ

胎児の発育について

赤ちゃんの発育は、超音波検査で調べます。

頭と体と足から体重を推定します。この推定体重は、実際の体重とある程度の誤差があることが知られています。

下のグラフは赤ちゃんの妊娠週数ごとの体重をあらわしたものです。推定体重が2つの点線の間であれば、「週数相当の大きさ」ということになります。



「超音波胎児計測の標準化と日本人の基準値 (一部改変)」

胎児が「大きい」、「小さい」と どんな心配なことがあるの？



◆「大きい」とき：お母さんに**耐糖能異常**

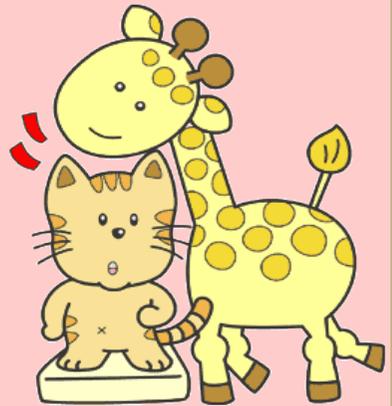
(糖尿病や妊娠糖尿病)が隠れている場合があります。まれに胎児に病気を合併していることもあります。

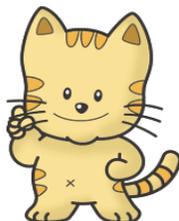
- ## ◆「小さい」とき：一定の基準よりも胎児が小さい場合、「**胎児発育不全**」といいます。胎盤機能に問題がある場合や、胎児自身に病気がある場合もあります。また、お母さんの妊娠高血圧症候群を合併することがあります。

胎児の大きさが「週数相当」

でないからといって、全てが病気
ではありません。

しかし、胎児が極端に
「大きい」・「小さい」場合には
何か病気が隠れていないか
より詳しく定期的に観察して
いくことが大切です。





地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪母子医療センター

<産科>

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

患者支援センター TEL 0725-56-1220

FAX 0725-56-5605